

【教育目標】

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 TEL 3399-2196

校内で感染をできるだけ広げないために

11月に入り新型コロナウイルスの感染が急速に拡大しています。そして発熱や咳がなくても味覚や嗅覚異常が発症し、症状の改善に時間がかかる例も少なくないことがわかってきました。(これについてはジャニーズの千賀健永さんがYou Tubeの「Smile Up! Project ~嗅覚障害について~」で、ご自身の体験を話されています。)。中瀬中ではこれまで検査を受けた教員・生徒は、すべて陰性でしたが、この状況で症状の有る無しにかかわらず、誰が感染していてもおかしくありません。

教室や部活など学校での感染をできるだけ広げないためには、中瀬中生が今まで取り組んできた「自分が感染しているかもしれないことを前提に、人にうつさないよう行動する」を徹底することです。具体的には「校舎内と会話時のマスク」「手洗い」「自分の場所・物以外は触らない」「共有な物の消毒」そして「換気」です。

換気について中瀬中は、学校再開時から教室のドア・地窓などを撤去し、窓を開け、常時換気をしています。寒くなる季節ですが、常時換気は続けざるを得ません。生徒には、授業中でもコート、ひざ掛けなどを使い寒さ対策をすること、先生もコートなどを着用して授業を行うこともあると伝えました。暑さ寒さの体感是人それぞれです。服装の細かな規則は決めません、一人一人が考え判断してください。

ただし判断の基準は、自分の感覚ではありません。例えば今、3年生の進学の相談に高校の先生が中瀬中を訪れています。判断の基準は「高校の先生をはじめ、中瀬中の外から来られた方が見ておかしくない格好、態度」です。1・2年生は3年生のために、3年生はお互いのために、しっかり考え判断し行動しましょう。

学校がある意味 ~深い学び~

前号で紹介した音楽発表会に関する2年生の作文の中の「体育大会の個人種目はオープン参加なのに、なぜ音発は違うのか」という言葉は、音楽発表会の意義と深く結びついています。

どんな行事も目的は、生徒たちが感じ、悩み、考え、取り組む中で、変化し自分を成長させる⇒「深い学び」であり行事を“行う”ことが目的ではありません。だから勝ち負けなどの結果や、達成感だけで終わっては、行事にかけた時間が無駄になってしまいます。

「深い学び」は“やらされる”ことでは生まれません。自分で選び取り組む⇒「主体性」が必要です。体育大会の個人種目がオープン参加だったからこそ、エントリーした生徒もしなかった生徒も、感じ、悩み、考えたのです。主体的に取り組んだ者ほど、深く学び変化し成長します。

しかし「深い学び」は一人だけでは進みません。体育大会のダンスや学年種目、合唱の様にみんなで取り組み作り上げていく時の、仲間とのぶつかり合い、励まし合う⇒「対話」が必要です。仲間と力と思いを合わせて取り組んだ者ほど、広く学び変化し成長します。

自分で選び取り組み、仲間とのぶつかり合い、励まし合う中で、感じ、悩み、考え、自分を成長させる
これは行事だけでなく授業も含めた学校の存在意義だと思います。(校長 香西 雅斗)

音楽発表会～上級生の姿を見て～

1・2年生の作文の紹介の第2回です。次号からは3年生の作文を紹介します。

<p>…やはり3年生の大地讃頌が印象に残った。ハーモニーがとても美しく、すごいと感じた。…1C 滝波 恵</p>	<p>…3年生はどの合唱もとてもすごくて、短期間の練習でこんなにすごい合唱ができるんだと驚きました。一人一人が生懸命歌うことで、とても大きな感動が生まれることを改めて感じました。…1B 宮野入 友奈</p>	<p>…3年生のクラス紹介は、自分たちの曲の特徴や努力をしっかりと伝えていた。合唱も高音・低音の一人一人の声ははっきり聞こえてきて、とても素晴らしかった。…1B 牧嶋 悠奏</p>	<p>…3年生の合唱は、歌唱力が桁違いです。ごかった。情感をこめた指揮、女声も男声もしっかり聞こえ、本当にすばらしかったです。私も、会場の皆を感動させられる3年生になれるよう、歌唱力を高めたい。…1A 中村 愛未</p>	<p>…2・3年生の歌はめっちゃくちゃうまい。声がピアノに負けていない、ピアノも声に負けていない。聞いていて歌詞もしっかり伝わってくる。そしてどの声もバラバラでなくバランスが取れている。改めて2・3年生のすごさが伝わってきました。…1A 堀内 まなみ</p>	<p>…初めての音楽、どんな感じになるのか全く想像できませんでした。でも2・3年生の先輩方が、朝も放課後も練習をしているのを見て、音楽はすごいだろうなと思いました。…1A 福本 真菜</p>
<p>…3年生の大地讃頌では男声なのに高い声が出ていて、声の重なりもとてもきれいだったので感動した。…1年生はまだ声が低くなっている男声も多かったと思うが、しっかりと歌えていてすごいと思った。…2C 川上 慈雨</p>	<p>…当日強く印象に残ったのは3年生の合唱だった。大地讃頌はもちろん、それぞれの自由曲を聴いて感動するとともに、来年は自分たちが歌うのかと複雑な気持ちになった。…2A 小野 隼ノ介</p>	<p>…当日、私は衝撃を受けた。この広い会場で声や気持ちを響かせている先輩たちの姿は、とても美しく輝いていた。…1D 原 悠音</p>	<p>…一番の思い出は2年生の「木を植える」です。…女子は声が高くきれいで、男子も一年生の様に恥ずかしくて声が出ないという人は一人もいなかった。…1D 猪木 陽斗</p>	<p>…3年生は学年合唱もクラス合唱もすてきで、心がふるえる歌声でした。私たちが3年生になった時に、1・2年生に負けない合唱ができるか、本当に不安になりました。…1C 齋藤 双葉</p>	<p>…一度舞台上に乗ったら戻れないし、3年生に歌を届けたいといけない。その一心で歌った。歌詞を間違えたかもしれない、何度か音はずしたかもしれない。それでも3年生に『大切なもの』を届けられたと思う。…1C 岩田 涼</p>



＜離任式後体育館に集まった3年生の『大地讃頌』＞

3年生の大地讃頌は、短い練習期間とは思えぬ見事な仕上がりでした。

11月20日の離任式後の学年集会では、離任された先生方に、体育館いっぱいに響く美しい歌声をプレゼントしました。

<p>…3年生。1・2年生よりはるかに難しい曲を短期間で歌いこなしていた。どの学年より輝いていた。…</p>	<p>…昨年の実行委員の先輩が「合唱は花束だ」と言っていた。本当にその通りだと思う。ただ上手な合唱ならプロが歌えばいい。しかし異なる個性をもったクラスメイトが団結してこそ「感動」と「輝き」が生まれるのだと思う。…2A 伊藤 未菜</p>	<p>…3年生の大地讃頌はとても迫力がありました。合唱部、吹奏楽部の発表もとても良かったです。…2B 今田 哲平</p>	<p>…3年生の大地讃頌。例年とは違い練習時間が短い中なのに、あの歌にはとても感動した。3年生がみんなで歌った合唱。来年、僕たちが超えるものを作らなければという気持ちになった。…2D 杉江 隼</p>
--	--	--	--

小柴昌俊博士を悼んで

11月13日に本校の名誉校長を務められたこともある小柴昌俊博士が死去されました。中瀬中では16日の6時間目に、全校生徒が校庭に集まりました。科学と自然の散歩みちなど、小柴博士と本校との関わりや、博士が中学で大病をした時のエピソードなどが紹介された後、短時間ですが黙とうを行いました。



＜全校生徒と教員による黙とう＞